

令和6年度

# 「運営に関する計画」

(最終評価)

大阪市立南幼稚園

令和7年3月

# 大阪市立南幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

○近年の様々な自然災害が生じている。幼稚園は、幼児が初めて経験する集団生活である。幼児が自然災害について知り、災害時の安全な行動のし方を身につけていくことは、幼児が安全で安心な生活を送るために必要なことであると考える。また、近年のコロナ禍により、生活の中で、幼児に必要な直接体験が制限されがちな状況もある。怪我や事故につながる危険なことに対して、幼児自身が見通しをもち、安全な遊び方を考え、行動する力も必要である。幼児が、安全な生活のために必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動することができるよう教育活動を進めていきたい。

○幼児の入園までの人との関わりの経験の傾向として次のような姿が見られる。

- 複数の区から広範囲に渡って通園してきており、生活する地域に公園も少なく、家庭で過ごしてきた幼児が多い。入園前に同年齢くらいの幼児との関わりや地域とのつながりの経験が少ない。
- 外国につながりのある幼児が多く、日本語でのコミュニケーションの経験が少ないと、或いは全く無い幼児も多数在籍している。

そこで、いろいろな人と関わる豊かな体験ができるような園生活や活動を工夫し、幼児が互いの気持ちや思い、考えなどに気付き、認め合う心と自己肯定感を育むための教育活動を行い、幼児それぞれの個性や、様々な文化などを尊重し、多様性を受け入れながら人と関わっていく力の育成を図りたい。

○都会の中心での生活により、特にのびのびと体を動かして遊ぶ体験や自然に関わる体験が希薄になってきている。本園の特色である、広大なグラウンドや、畑や様々な種類の果樹などの豊かな自然環境を活用し、友達と一緒にのびのびと遊べるような活動内容、四季折々の木々の変化や実りを味わうことができる環境の活用のし方、植物や生き物に触れ、育てる活動について工夫し、主体的に活動する喜び、命の大切さを感じることができるように教育活動を行いたい。

○よりよい教育活動を進めていくにあたって、教職員自身の資質向上も大切である。学びを支える幼稚園の人的環境として、専門的な知識を学ぶ機会をもち、情報交換しながら幼稚園全体の教育力を高めていきたい。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

「安全な生活のために必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する力を育む」ために、以下の目標の達成をめざし保護者アンケートにおいて、次の項目について肯定的な回答を85%以上にする。

- 幼稚園は、様々な災害に備え、命を守る習慣や行動を身につける保育内容の工夫をしている。
- 幼稚園は、子どもが安全に過ごす意識がもてるようにしている。
- 子どもは、自分の命を守る意識や行動が身についてきている。

### **【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

「互いの気持ちや思い、考えなどに気付き、認め合い、自己肯定感を味わえるようにする」「それぞれの個性や、様々な文化などを尊重し、多様性を受け入れながら人と関わっていく力を育む」「主体的に活動する中で、自ら体を動かして遊ぼうとする意欲や、植物や生き物との関わりを通して命を大切さにする心を育む」ために、以下の目標の達成をめざし保護者アンケートにおいて、次の項目について肯定的な回答を85%以上にする。

- ・幼稚園は、子どもが様々な人と交流する体験を行っている。
- ・子どもは、いろいろな人（クラスの友達、他のクラスの友達、学校や地域の人）との関わりを楽しんでいる
- ・幼稚園は、子どもが体を動かして遊ぶ活動の工夫をしている。
- ・子どもは、体を動かして遊ぶことが好きである
- ・幼稚園は、植物や生き物に触れる活動を工夫している
- ・子どもは、植物や生き物との触れ合いを楽しみ、命の大切さなどにも気付いてきている

### **【学びを支える教育環境の充実】**

「教職員の専門的な知識を高め、資質向上を図る」ために、以下の目標の達成をめざし保護者アンケートにおいて、次の項目について肯定的な回答を85%以上にする。

- ・幼稚園は、幼児期に大切な様々な体験ができる保育を行っている
- ・子どもは、安心感をもって生活し、幼稚園が好きである

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### **【安全・安心な教育の推進】**

「安全な生活のために必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する力を育む」ために、以下の目標の達成をめざし保護者アンケートにおいて、次の項目について肯定的な回答（そう思う）を80%以上にする。

- ・幼稚園は、様々な災害に備え、命を守る習慣や行動を身につける保育内容の工夫をしている。
- ・幼稚園は、子どもが安全に過ごす意識がもてるようにしている。
- ・子どもは、自分の命を守る意識や行動が身についてきている。

### **【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

「互いの気持ちや思い、考えなどに気付き、認め合い、自己肯定感を味わえるようにする」「それぞれの個性や、様々な文化などを尊重し、多様性を受け入れながら人と関わっていく力を育む」「主体的に活動する中で、自ら体を動かして遊ぼうとする意欲や、植物や生き物との関わりを通して命を大切さにする心を育む」ために、以下の目標の達成をめざし保護者アンケートにおいて、次の項目について肯定的な回答（そう思う）を80%以上にする。

- ・幼稚園は、子どもが様々な人と交流する体験を行っている。
- ・子どもは、いろいろな人（クラスの友達、他のクラスの友達、学校や地域の人）との関わりを楽しんでいる
- ・幼稚園は、子どもが体を動かして遊ぶ活動の工夫をしている。
- ・子どもは、体を動かして遊ぶことが好きである
- ・幼稚園は、植物や生き物に触れる活動を工夫している
- ・子どもは、植物や生き物との触れ合いを楽しみ、命の大切さなどにも気付いてきている

### 【学びを支える教育環境の充実】

「教職員の専門的な知識を高め、資質向上を図る」ために、以下の目標の達成をめざし保護者アンケートにおいて、次の項目について肯定的な回答（そう思う）を80%以上にする。

- ・幼稚園は、幼児期に大切な様々な体験ができる保育を行っている
- ・子どもは、安心感をもって生活し、幼稚園が好きである

### 3 本年度の自己評価結果の総括

- ・本年度の保護者アンケート結果は、肯定的な意見を「そう思う」に限定したこと、目標を下回るものもあった。「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、目標を上回って達成している。「ややそう思う」の意見を「そう思う」と保護者が感じるための保育実践、保育の発信を行っていく必要がある。
- ・地域交流では、陶芸教室、生け花教室など、専門の先生や地域の方との交流、地域の敬老の方との交流や、ひよこランドでの未就園児とのふれあいなど、交流する機会をもつことができた。その結果、いろいろな人と触れ合う嬉しさを感じたり、自分よりも小さい友達に優しく関わろうとする気持ちが育まれたりした。また、日々の活動の中で、教職員が異年齢の交流を意識的に取り入れることで、他クラスの友達にも興味をもち、自ら関わろうとする姿が多く見られるようになった。
- ・様々な災害に備え、命を守る習慣や行動を身につける保育内容の工夫について、昨年度実施してきた、「無予告」での避難訓練を「地震」「火災」「防災」全てに取り入れることにより、より実践に近い訓練を行うことができた。また、今年度は災害が起きた際の保護者への引き渡し訓練を計画し、災害時引き渡しカードを作成し、実際に避難訓練で活用することができた。日々の生活の中で安全についての意識がもてるよう週案打ち合わせ時に幼児の実態を話し合い、安全な生活に関する援助や環境を考え実践することができた。
- ・いろいろな文化に興味や関心がもてるような保育について、「行事」と「言葉」から取り組みを行った。外国につながりのある幼児が多い中で、いろいろな国の言葉に触れる機会を取り入れたり、伝統的な文化に触れる機会をつくったりすることで、個性や様々な文化などを尊重しながら人と関わる力を育むことにつながった。
- ・体を動かす楽しさを味わえる環境について、日々教職員で話し合い、年間を通して体を動かす遊びを楽しめる環境を整えることができた。園庭の工事があり、使用できない中で、広いグラウンドがある環境を活かせるような保育を話し合い、環境を整えることで、自から進んで体を動かす遊びに取り組む姿が見られるようになった。
- ・グラウンドの畑を活用し、年間を通して栽培活動を行い、成長を観察したり収穫したりする嬉しさを感じることができた。植えた種から芽が出てきたことを喜んだり、友達と一緒に野菜を収穫することで、自分で野菜を育てる嬉しさを感じたりする姿が見られた。

大阪市立南幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【安全・安心な教育の推進】</b> <b>学校園の年度目標</b> <p>「安全な生活のために必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する力を育む」ために、以下の目標の達成をめざし保護者アンケートにおいて、次の項目について肯定的な回答（そう思う）を80%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園は、様々な災害に備え、命を守る習慣や行動を身につける保育内容の工夫をしている。</li> <li>幼稚園は、子どもが安全に過ごす意識がもてるようにしている。</li> <li>子どもは、自分の命を守る意識や行動が身についてきている。</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【1－5、防災・減災教育の推進】</b> 様々な災害に備え、命を守る行動や習慣を身につける。 (安全・安心な教育環境の実現)	B
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災に関する指導の年間計画を立て、自分の命を守る行動を身につけ、習慣付くよう、発達や実態に応じた指導の内容を工夫し実践する。</li> </ul>	
<b>取組内容②【1－6、安全教育の推進】</b> 安全に過ごす意識をもち、見通しをもって生活したり遊んだりできるようにする。 (安全・安心な教育環境の実現)	A
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週の週案打ち合わせ時に、幼児の実態から安全面の配慮や指導内容、環境整備について話し合い、実施する。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<b>&lt;保護者アンケート結果&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園は、様々な災害に備え、命を守る習慣や行動を身につける保育内容の工夫をしている・・・・・・・・・・・ 肯定的回答 90% (目標 80%)</li> <li>幼稚園は、子どもが安全に過ごす意識がもてるようにしている・・・・・・・・・・・ 肯定的回答 84% (目標 80%)</li> <li>子どもは、自分の命を守る意識や行動が身についてきている・・・・・・・・・・・ 肯定的回答 58% (目標 80%)</li> </ul>	

取組内容①

- ・年間計画を立て毎月実施した。

月	想定	ねらい ○全学年のねらい・内容 【各学年の内容】	実際の指導及び幼児の姿
4月	火災	<p><b>○火災の時の避難方法を知る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常ベルの音を聞き、非常ベルの役割を知る。</li> </ul> <p>【3歳・4歳児新入園児】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な避難の方法や場所を知る。</li> </ul> <p>【4歳進級児・5歳児】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な避難の方法や場所を再確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児は、非常ベルがどのような場面で鳴るのか、ベルが鳴ったらどのような行動をとればよいのか、テラスで思い出したこと、静かに非常ベルや指示を聞いて行動することができた。</li> <li>・4歳児は新入園児もいたため、「おはしもちな」の約束をイラストで示しながら確認した。約束への意識をもって避難することができた。</li> <li>・3歳児は、テラスでベルの音を聞いたり、4、5歳児が避難する様子を見たりすることで、避難訓練がどのような活動であるか知ることができた。</li> </ul>
5月	火災 (預かり保育)	<p><b>○預かり事業時の火災の避難方法を知る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常ベルを聞き、非常ベルの役割を知る。</li> <li>・安全な避難の方法や場所を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年、避難の方法や避難時の約束を再確認することで、落ち着いて行動することができた。ハンカチを忘れた幼児がいたため、ハンカチで鼻や口を覆う理由を知らせ、非常に必要であることを再確認した。</li> </ul>
6月	地震	<p><b>○地震の際の避難方法を知る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示をよく聞き、落ち着いて避難する。</li> <li>・地震の際に、保育室の安全な場所に避難し、ヘルメットをかぶる。</li> </ul> <p>【3歳】・地震の際の避難の仕方を知る。</p> <p>【4歳】・地震の際の避難の仕方を思い出し、教師の話を聞いて避難する。</p> <p>【5歳】・地震の際の避難の仕方を思い出し、どのような行動をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児は、保育室の耐震壁やヘルメットの場所を確認したり、地震の際の避難方法を思い出したりすることで、自分でどのような行動をとればよいか考えながら、避難訓練に取り組むことができた。</li> <li>・4歳児は耐震壁についてや、ヘルメットの被り方にについて話をした。教師の指</li> </ul>

		か自分で考える。	示をしっかりと聞いて耐震壁まで避難する姿が見られた。 ・地震の音を体感できるように太鼓を活用している。3歳児は初めての地震の避難訓練で、太鼓の音に驚き泣く姿が見られた。避難訓練でも教師が近くにいることを知らせ、怖がらずに参加できるようにしていく必要がある。
7月	不審者	<p><b>○不審者侵入時の避難方法を知る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な避難の方法や場所の確認をする。</li> <li>・合図や指示をよく聞き、落ち着いて避難する。</li> </ul> <p>【3歳】・不審者侵入時の避難方法を知る。</p> <p>【4歳】・不審者侵入時の避難の仕方を思い出し、教師の話を聞いて避難する。</p> <p>【5歳】・教師の話を静かに聞いて、どのような行動をするか自分で考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児は、これまでの避難訓練の経験を思い出したことで、状況を理解して、静かに行動することができた。</li> <li>・4歳児は、2階の職員室に避難する理由を子どもと一緒に考えながら話をしたことで、理解につなげることができた。移動の際に話をしている姿があったので、今後、「しゃべらない」の約束を守る大切さを知らせていく必要がある。</li> <li>・3歳児は、泣くことなく落ち着いて避難することができた。しかし、不審者がどのような人かを理解することが難しい子どももいるため、子どもが分かるような教材を工夫し、知らせる必要がある。</li> </ul>
7月	地震 (預かり保育)	<p><b>○預かり保育の際の地震の避難方法を知る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示をよく聞き、落ち着いて避難する</li> <li>・地震の際に、保育室の安全な場所に避難し、ヘルメットをかぶる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月から園庭工事のため、通用門の使用ができず、これまでと避難経路が変更となった。</li> <li>・全学年、教師の話を聞き、玄関から園舎横を通り落ち着いて避難することができた。</li> </ul>
9月	地震	<b>○地震の時の避難方法を知る。</b>	・5歳児は、園庭工事のため

	(大阪 880 万人訓練)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合図や指示をよく聞き、落ち着いて行動する。</li> <li>・地震の際に、ヘルメットをかぶつて避難することを知る。</li> <li>・『大阪880万人訓練』の訓練を知る。</li> </ul> <p><b>【3歳】</b> 地震の際のグラウンドへの避難の仕方を知る。</p> <p><b>【4歳】</b> 地震の際のグラウンドへの避難の仕方を知り、教師の話を聞いて避難する。</p> <p><b>【5歳】</b> 地震の際のグラウンドへの避難の仕方を知り、どのような行動をするか自分で考える。</p>	<p>避難経路が変わったことを知らせ、改めて避難時の行動の仕方を話し合った。工事前よりも狭い玄関や道を通って避難するため、「おはしもちな」の約束がより大切だということに気付き、落ち着いてグラウンドに避難していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4歳児は、保育室のどこに避難するかや、ヘルメットの被り方について確認した。耐震壁に集まること、ヘルメットの留め具をしっかりと固定することを、理解して避難することができた。グラウンドに避難する際も、教師の話を聞いていた。</li> <li>・3歳児は、地震の際の約束をイラストで掲示しながら知らせたことで、何の避難訓練であるか、約束は何かを確認して避難することができた。初めてのグラウンドへの避難であったが、落ち着いて避難することができた。</li> </ul>
10月	火災	<p><b>○火災の際の避難時の約束を守り、避難する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難の時の約束を守って、行動する。</li> </ul> <p><b>【3歳】</b> ・火災の際の避難の約束を思い出し、教師や友達と一緒に避難する。</p> <p><b>【4歳】</b> ・火災の際の避難の約束を思い出し、約束を守って行動する。</p> <p><b>【5歳】</b> ・火災の際の避難の約束を考えながら、適切に行動する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内放送が使用できない際はどのように火災であるかを伝達するか考え、避難訓練を行った。教職員間で園内内線を使用したり、口頭で伝達したりすることで、火災や避難場所を素早く伝達し避難することができた。</li> <li>・5歳児は、火災の際に想定される状況を話し合い、どのように避難すればよいのか考えたことで、約束を守る理由を考えながら取り組むことができた。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・4歳児は、火災の際の約束を自分たちで考えながら思い返したことで、約束を守って行動することができた。また、グラウンドに避難するときは、園舎周りの狭い道を通る必要があるので、外に出た際の約束も事前に押さえる必要がある。</li> <li>・3歳児は、火災の際の約束をイラストで掲示しながら知らせたことで、火災の時はハンカチで鼻と口を覆うことを視覚的に確認し、実施することができた。</li> </ul>
11月	不審者 (3月に延期し、実施した)	<p>○落ち着いて教師の指示を聞き、機敏に行動する（無予告）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の指示に従い、保育室に入ったり、不審者から離れた場所に集まつたりする。</li> <li>・静かに指示を待ち、指示に従って安全な場所に避難する。</li> </ul> <p>【3歳】・不審者侵入時の合図を思い出し、教師の話を聞いて落ち着いて避難する。</p> <p>【4歳】・不審者侵入時の合図や避難の仕方を思い出し、指示に従つて速やかに行動する。</p> <p>【5歳】・不審者侵入時の合図や約束を思い出し、自分の身を守ることが分かって、速やかに避難する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無予告で行ったが、前回の経験を思い出しながら、普段と違う場所への避難でも、全クラス落ち着いて私語をせず、約束を守りながら動くことができていた。</li> </ul>
12月	地震・津波	<p>○地震及び津波の際の避難方法を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震による津波発生時に、3階に階段を使って安全に避難する。</li> <li>・合図や指示をよく聞き、落ち着いて避難する。</li> </ul> <p>【3歳】教師の話を聞いて、教師や友達と一緒に落ち着いて避難する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児は初めての南船場会館への避難であった。階段の手すりが届かなかったり、片方にしか設置されていなかったりすることから、教師が安全に上り降りできるように見守る必要</li> </ul>

		<p>【4歳】地震による津波発生時の避難の仕方を知り、指示に従って速やかに行動する。</p> <p>【5歳】大きな揺れが続いているときの自分の身の守り方を思い出し、指示を聞いて自分で考えて行動する。</p>	<p>があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4歳児は、津波のときの避難の仕方をイラストを用いて伝えたことで、再度約束を意識できるようにした。普段は使わない南船場会館の階段を上っての避難だったが、落ち着いて最後まで避難することができていた。</li> <li>5歳児は、これまでの経験から、落ち着いて階段を上り、避難することができた。また、津波がきたらどのような状況になるか、話し合ったことで、高いところに逃げる必要性を感じ取り組むことができた。</li> </ul>
1月	地震 (引き渡し訓練)	<p>○地震の際の合図を落ち着いて聞き、避難の仕方や約束を守って行動する。 (無予告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>合図や指示をよく聞き、落ち着いて避難する。</li> </ul> <p>【3歳】教師の話を聞いて、教師や友達と一緒に落ち着いて避難する。</p> <p>【4歳】地震の避難の仕方を知り、指示に従って速やかに行動する。</p> <p>【5歳】大きな揺れが続いているときの自分の身の守り方を思い出し、指示を聞いて自分で考えて行動する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時引き渡しカードを作成し、保護者に災害時の引き渡し者を記入してもらった。引き渡し訓練では、引き渡しカードを使用し、訓練を行った。クラスごとに、引き渡し者を確認しながら行うことで、安全に引き渡しを行うことができた。</li> <li>3歳児は無予告の避難訓練に不安にならないよう、朝の集まりで地震の際の避難の仕方をイラストで確認した。遊んでいる際に訓練を実施したが、落ち着いて教師の話を聞き、避難することができた。</li> <li>4歳児は、1日のどこかで訓練があることを知らせて、遊んでいる最中に訓練を実施した。地震が起こった合図を聞くと、すぐに耐震壁の元に集まり、身を縮めて自分の体を自分で守</li> </ul>

			<p>ろうとする様子が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5歳児は、無予告で訓練を行ったが、これまでの経験から、遊びの最中でも落ち着いて教師の話を聞き、行動することができた。事後指導では、担任が近くにいなくとも、一番近くの教師の指示を聞いて行動することや、すぐに持っているものを置いて安全な場所で身を守ることなどを確認した。</li> </ul>
2月	火災	<p>○火災の際の合図や放送を落ち着いて聞き、避難の仕方や約束を守って行動する（無予告）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんな場所にいても放送を静かに聞き、近くにいる教師のところに集まる。</li> <li>【3歳】・近くの教師の話を聞き、落ち着いて避難する。</li> <li>【4歳】・放送や近くの教師の話を静かに聞き、指示に従って速やかに避難する。</li> <li>【5歳】・どのような場所にいても合図や放送を静かに聞き、避難の方法や約束を思い出しながら速やかに避難する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3歳児、4歳児は、1日のどこかで避難訓練があることを知らせ、遊んでいる際に訓練を行った。非常ベルの音が聞こえると、すぐに遊ぶのをやめて静かに教師の元に集まることができた。グラウンドに避難する際にも、「おはしもちな」の約束を守りながら、安全に避難することができた。</li> <li>5歳児は、無予告で訓練を行ったが、火事の合図を聞くと、すぐに教師のもとに集まることができた。ハンカチを持っていなかった幼児がいたため、火事はいつ起こってもおかしくないため、常に携帯することの大切さを知らせた。</li> </ul>

## 取組内容②

- 幼児の実態から、以下のように安全に対する指導と環境整備を行った。

月	学年	場所・もの活動	指導内容	環境整備及び配慮
4月	3歳児	園内探検	○園内のいろいろな場所や約束を知る	・年長児と一緒に園内を探検し、年長児が部屋の名前や約

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室は教師と一緒にに入る</li> <li>・管理室は入らない</li> <li>・階段は右側を通り</li> </ul>	東を知らせるようにした
	5歳児	はさみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○はさみの安全な扱い方を再確認する</li> <li>・はさみを持ち運ぶときは、刃の方を握って持つ</li> <li>・座って使う</li> <li>・刃の前に手を置かない</li> <li>・使わないときは、はさみ立てに片付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスで製作遊びをする際に、幼児と安全な扱い方を思い出しながら、再確認した</li> <li>・遊んでいる際に、危険な姿を捉え、随時知らせた</li> <li>・危険な場面は、幼児同士でも教え合えるように声をかけた</li> </ul>
	4歳児	生活安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○椅子や机の安全な運び方を確認する</li> <li>・椅子を運ぶときには背もたれをお腹につけて、両手で運ぶ</li> <li>・机は2人1組で、周りをよく見て運ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運んでいる途中で衝突しないよう、少人数ずつ名前を呼んだり、机を運ぶペアを決めてから移動を始めたりするようにした</li> <li>・正しい持ち方をしている幼児の姿を捉え、周りにも知らせることによって意識をもてるようにした</li> </ul>
5月	全学年	遊具	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊具の安全な使い方を知る</li> <li>・固定遊具の上では走らない</li> <li>・滑り台は反対から登らない、お尻をつけて滑る、前の人が滑り終わってから滑る</li> <li>・テープが貼ってあるところより上は登らない</li> <li>・一度に遊具を使える人数が決まっている場所では、守って遊ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が手本となり、実際に遊具を使いながら安全な行動を示した</li> <li>・遊んでいる際に危険な姿を捉え、随時知らせた</li> <li>・総合遊具のはしごには、一番上の段に赤のテープを印として貼り、安全に登れる高さが目で見てわかるようにした</li> <li>・鉄棒など、一度に遊具を使える人数が決まっている遊具の前には、ラバーフープを並べて置き、並んで待てるようにした</li> </ul>
	全学年	生活安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テラスの柱周りでの安全な過ごし方を再確認する</li> <li>・柱に足をかけて登らない</li> <li>・すのこの隙間に指を入れない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱の隙間に足を入れて抜けなくなるよう、柱を緩衝材で巻いた</li> <li>・すのこが大きく開いているところには、雑巾を詰めた</li> </ul>

	全学年	避難訓練	○避難訓練時の約束「おはしもちらな」を知る	・避難時の約束「おはしもちらな」をイラストを用いて作成し、常時よく見えるところに常時掲示した
6月	全学年	生活安全	○トイレの使い方を再確認する ・廊下で順番を待つ ・扉を開くときは、ゆっくり開けるようにする	・トイレの中が混雑しないよう、トイレ前の廊下に枠線を引き、順番に並んで待てるようにした ・扉の開閉時にけがをしないよう、緩衝材で保護した
	全学年	生活安全	○泥んこ遊び後の始末の仕方を知る ・濡れた足は丁寧に拭く ・廊下は歩く	・滑らないように足拭きマットを敷き、足を拭くタオルを準備した ・丁寧に足を拭くことができるよう一人一人の実態に応じて手伝ったり声掛けをしたりした
	全学年	熱中症予防	○熱中症の危険性を認識する	・熱中症計を設置し、警戒音で暑さへの危険を意識できるようにした ・暑さ指数を示す掲示物を通用門に掲示した
	4歳児	生活安全	○扉を閉めるときの注意点を確認する ・ゆっくりと扉を開閉する ・閉めるときは、周りに誰もいないかを確認してからにする	・保育室の扉が勢いよく閉まらないように、扉の上部にストッパーを設置した ・幼児が扉を開け閉めしているときに、周りへの意識がもてるよう声かけをした
	4歳児	はさみ	○はさみの安全な使い方を全体で確認する ・椅子に座って使う ・持って動くときには、必ず刃先側を持つようにする ・使わないときには、キャップをしめて置いておく	・扱いに慣れていない幼児もいるため、一人一台の机を用意し、周りに友達がいない状態で使用できるようにした ・その都度、幼児が意識できるように声かけをした
	3歳児	歯磨き	○安全な歯磨きの仕方を知る	・歯磨きを始める前に、歩く時はハブラシを口に入れない、うがいをしに水道まで行く時は、歯ブラシをコップに入れて歩くなどの約束を確認した

7 月	全学年	プール	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プールの安全な遊び方を知る           <ul style="list-style-type: none"> <li>・プールサイドは歩く</li> <li>・プールは後ろ向きに入水する</li> <li>・教師の話を聞く、合図を守る</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール開きでは、「プールサイドは走らない」「プールに飛び込まない」などの約束が視覚的に分かる掲示を見せながら知らせた</li> <li>・個々の実態に応じて随時約束を知らせた</li> <li>・熱中症予防のため、遮光ネットを設置した</li> <li>・外から見えないようにシートやテントで目隠しをした</li> <li>・待機場所にビニールテープを貼った</li> </ul>
9 月	全学年	交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通ルールを再確認する           <ul style="list-style-type: none"> <li>・横断歩道を渡る</li> <li>・信号を守る</li> <li>・道路に飛び出さない</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンド入り口前のガードレールとガードレールの間に飛び出し防止バーを登降園時に設置した</li> <li>・登降園時、一列に並んで安全に道を歩けるように、コーンを設置した</li> </ul>
10 月	全学年	グラウン ド	<ul style="list-style-type: none"> <li>○熱中症予防のため、水分補給を行ったり、日陰で休息をとったりする           <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の合間に水分補給を行う</li> <li>・活動の合間に日陰で休息をとる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑さ指数を確認し、気温によって戸外での活動時間を計画した</li> <li>・活動の合間に水分補給を行うよう声かけをし、実際に水分補給をしているか個別に確認を行った</li> <li>・グラウンドに日陰となるようテントを設置した</li> </ul>
	全学年	けがの 予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>○けがの予防について再確認する           <ul style="list-style-type: none"> <li>・周りをよく見て、危険がないか確認する</li> <li>・ルールや約束を守る</li> <li>・爪を短く切る</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ前に爪を短くしておく啓発ポスターを掲示することで、自分で爪が伸びていないか爪の長さに気づけるようにした</li> <li>・けがをした際、けがの原因について振り返るようにし、けがの防止につながるように個人指導を行った</li> </ul>

	4歳児	生活安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○製作したものを整理する場所を共通理解する</li> <li>・製作したものは床には置かず、必ず自分の名前がかかれたカゴに入れる</li> <li>・入らなくなれば、使わないものを崩して整理整頓をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一つ名前をつけたカゴを用意し、自分でつくったものを整理しやすいようにした</li> <li>・床に物が落ちているときは、踏んだり滑ったりしてけがにつながらないよう、自分で気が付いて拾う意識がもてるよう、適宜指導を行った</li> </ul>
	5歳児	はさみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○はさみの安全な置き場所を知らせる</li> <li>・床に直置きせず、必ず台の上や板の上に置く</li> <li>・使わないときは、すぐはさみ立てに片付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなものをつくるために、床ではさみを使う姿が増えってきたので、全体に指導した</li> <li>・床ではさみを使用する際は、板の上でつくりたり、台の上に置いたりするように知らせ、友達が誤ってはさみを踏んでしまわないようにした</li> <li>・遊んでいる際に、危険な姿を捉え、随時知らせた</li> <li>・危険な場面は、幼児同士でも教え合えるように声をかけた</li> </ul>
	3歳児	生活安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○椅子の安全な片付け方を知らせる</li> <li>・椅子を片付ける時は、並んで片付ける</li> <li>・椅子は3脚以上重ねない（倒れる可能性があるため）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・椅子の運び方が身に付いてきたため、安全な片付け方を知らせた</li> <li>・初めて片付ける際には、一人一人順番に片付けることで、安全な片付け方を身に着けることができるようとした</li> </ul>
12 月	4歳児	生活安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○けがの予防について確認する</li> <li>・セーターの袖から、手先は出しておくようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒くなってきて、セーターの袖の中に手を入れて移動する幼児の姿が見られたため、転倒したときに、手をつくことができないことを知らせ、けがにつながらないよう指導をした</li> <li>・手を入れている幼児には、都度声かけをして、意識をもてるようにした</li> </ul>

	3歳児	生活安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○机の安全な運び方を知らせる           <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と2人で持ち上げて運ぶ</li> <li>・急いで運ぶと、机が倒れるので、ゆっくりと運ぶ</li> <li>・ロッカーの下に机を収納する時は指を挟まないように気を付ける</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身長が伸び、机を運べる力も身に付いてきたので、幼児が自分で机を片付けられるよう、安全な机の片付け方を知らせた</li> <li>・一斉に運ぶのではなく、1台ずつ運ぶことで、友達の運び方を見たり、教師が側で安全を確認しながら運んだりできるようにした</li> </ul>
1月	4歳児	生活安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○トイレに行った後の過ごし方について知らせる           <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレから出てきたら、保育室に戻る前にトイレ前で上靴を履く</li> <li>・入口付近で座り込んで履かなければないようにする</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上靴を履かずに手に持ったまま、靴下のまま保育室まで戻ってくる姿が見られたため、滑ってこける危険性を全体に伝え、指導した</li> <li>・トイレ前で座り込んで上靴を履くと、出入りする幼児とぶつかる可能性があるため、離れた場所に移動するように、都度トイレ前で声かけをした</li> </ul>
	全学年	けがの予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>○けがの予防について再確認する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・寒くても手をポケットから出して歩くことを知らせる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導に活用したポスターを掲示し、注意喚起した</li> </ul>
2月	5歳児	和太鼓のバチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○バチの扱い方を知らせる           <ul style="list-style-type: none"> <li>・バチを持って並ぶときは、間隔をあける</li> <li>・和太鼓を打たないときは、お腹にはさんで持つ</li> <li>・打つ順番を交代するときは、バチが当たらないように移動する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バチを安全に扱うことができるように、持ち方や並び方、披露の際の入退場の仕方を見直し、改めて指導した</li> </ul>

			<p>○交通ルールを再確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路標識を知り、行動する</li> <li>・横断の仕方を再確認する</li> <li>・狭い歩道の歩き方を再確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南小学校に行く際に、「一方通行」の道路標識を知らせ、車が来る方向を意識して横断できるよう指導したり、自転車などが停まっている狭い歩道を歩く際に気を付けるべきことを知らせたりした</li> <li>・遠足やグラウンドへの移動の際に、教師の声かけを頼りにするのではなく、自分で信号や左右を見て横断することができるよう、繰り返し教わせた</li> </ul>
5歳児	交通安全			

#### 次年度への改善点

- ・『子どもは、自分の命を守る意識や行動が身についてきている。』の項目について、保護者アンケートでの肯定的回数（そう思う）が 58%であった。1 学期のアンケート同様、年長は多くの保護者が「そう思う」と回答している。年中、年少になるにつれて「そう思う」の回答が少なくなっていくことから、3 年間の幼稚園での取り組みの積み重ねが自分の命を守る意識や行動につながっていると考えられる。また 3 歳児、4 歳児の実態や発達の中でみられる自分の命を守る意識や行動が身に付いている姿がどのような姿かを保護者に丁寧に知らせることが必要であると考える。「ややそう思う」の回答が 30%であったことから、引き続き、取り組みを積み重ね自分の命を守る意識や行動を身につけていくようにしていきたい。
- ・また、今年度から引き渡し訓練を実施した。来年度以降も継続して実施することにより、保護者も一緒に災害時の行動について考えていく機会としたい。

大阪市立南幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかつた	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>「互いの気持ちや思い、考えなどに気付き、認め合い、自己肯定感を味わえるようにする」「それぞれの個性や、様々な文化などを尊重し、多様性を受け入れながら人と関わっていく力を育む」「主体的に活動する中で、自ら体を動かして遊ぼうとする意欲や、植物や生き物との関わりを通して命を大切にする心を育む」ために、以下の目標の達成をめざし保護者アンケートにおいて次の項目について肯定的な回答（そう思う）を80%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園は、子どもが様々な人と交流する体験を行っている。</li> <li>・子どもは、いろいろな人（クラスの友達、他のクラスの友達、学校や地域の人）との関わりを楽しんでいる</li> <li>・幼稚園は、子どもが体を動かして遊ぶ活動の工夫をしている。</li> <li>・子どもは、体を動かして遊ぶことが好きである</li> <li>・幼稚園は、植物や生き物に触れる活動を工夫している</li> <li>・子どもは、植物や生き物との触れ合いを楽しみ、命の大切さなどにも気付いてきている</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【3-1、就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進】</p> <p>多様な体験を通して、様々な人との関わりを楽しみ、親しみをもつ。</p> <p style="text-align: right;">(幼児教育の推進と質の向上)</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との交流活動の年間計画を立て、実施する。</li> <li>・お家の方とのふれあい遊びを計画し、実施する。</li> <li>・いろいろな文化に興味や関心がもてるよう、保育に取り入れる。</li> </ul>	B
<p>取組内容②【3-1、就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進】</p> <p>様々な活動や遊びの中で、意欲的に体を動かして遊ぶようにする。</p> <p style="text-align: right;">(幼児教育の推進と質の向上)</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週案打ち合わせ時に、就学前教育カリキュラムを活用し、幼児の興味や関心、実態を捉え、体を動かして遊びたくなるような環境構成や内容の工夫及び実践、評価を行う。</li> </ul>	A
<p>取組内容③【5-2、健康教育・食育の推進】</p> <p>四季折々の樹木や、種や苗から育てる植物、生き物に、興味・関心をもって関わる。</p> <p style="text-align: right;">(健やかな体の育成)</p>	B

**指標**

- ・栽培の年間計画を作成し、植物に興味や関心がもてるよう保育内容を工夫する。
- ・遊びの中で出会う身近な生き物に関心や親しみをもてるよう保育に取り入れる。
- ・身近な生き物を大切にする気持ちをもてるよう保育内容を考え、実施する。

**年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析**

**<保護者アンケート結果>**

- ・幼稚園は、子どもが様々な人と交流する体験を行っている・・・肯定的回答 88%（目標 80%）
- ・子どもは、いろいろな人（クラスの友達、他のクラスの友達、学校や地域の人）との関わりを楽しんでいる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・肯定的回答 78%（目標 80%）
- ・幼稚園は、子どもが体を動かして遊ぶ活動の工夫をしている・肯定的回答 92%（目標 80%）
- ・子どもは、体を動かして遊ぶことが好きである・・・・・・肯定的回答 94%（目標 80%）
- ・幼稚園は、植物や生き物に触れる活動を工夫している・・・肯定的回答 90%（目標 80%）
- ・子どもは、植物や生き物との触れ合いを楽しみ、命の大切さなどにも気付いてきている・・・・・・肯定的回答 70%（目標 80%）

**取組内容①**

**学校や地域の人との交流**

6月	南船場 ウェルカム デイ  保育実習  絵本の読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"><li>・南船場会館にて、地域の方とのふれあい</li><li>・相愛高校の保育実習 2年生、3年生との交流</li><li>・島之内図書館のボランティアによる絵本の読み聞かせ</li></ul>
7月	カプラ遊び  南中学校職場体験 (2年生)	<ul style="list-style-type: none"><li>・カプラ遊びでの専門の先生とのふれあい</li><li>・南中学校 2年生との交流</li></ul>
9月	太鼓指導  陶芸教室  ひよこランド	<ul style="list-style-type: none"><li>・太鼓指導での専門の先生との交流</li><li>・陶芸教室での専門の先生や地域の方との交流</li><li>・未就園児とのふれあい</li></ul>
10月	ひよこランド  種花事業  交通安全指導  相愛高校との交流	<ul style="list-style-type: none"><li>・未就園児とのふれあい</li><li>・種花事業での地域の方との種植え</li><li>・交通安全指導での警察の方との交流</li></ul>
11月	書道教室  ひよこランド  お話の会  南船場 ウェルカム デイ	<ul style="list-style-type: none"><li>・書道教室での専門の先生との交流</li><li>・未就園児とのふれあい</li><li>・島之内図書館のボランティアによる絵本の読み聞かせ</li><li>・南船場会館にて、地域の方とのふれあい</li></ul>
12月	ひよこランド  人形劇鑑賞	<ul style="list-style-type: none"><li>・未就園児とのふれあい</li></ul>

1月	ひよこランド マリンバ コンサート	・未就園児とのふれあい ・マリンバコンサートでのマリンバの演奏家の方とのふれあい
2月	ひよこランド ふれあいディ (幼 小交流) (5歳児) 生け花 (4歳児)	・未就園児とのふれあい ・南小学校1年生との交流 ・生花での専門の先生や地域の方との交流
3月	一日体験入園	

**保護者とのふれあい遊びの計画・実施**

		<行事> 内容
5月	5歳児	<p>&lt;日曜参観&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かけっこでは、保護者がタンブリンを持ってゴールに立ち、子どもが保護者に向かって走れるようにした。</li> <li>保護者と『おせんべいやけたかな』をした。寝転んでいる保護者を子どもが「おせんべいやけたかな」と揺らしたり、ひっくり返したり、ふれあいを楽しんだ。</li> </ul>
	4歳児	<p>&lt;日曜参観&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サーキット遊びで、保護者にタンブリンをもってもらい、台からジャンプしてタッチすることを楽しんだ。</li> <li>『おとなこうえん』の曲に合わせて、手をつないで腕を揺らしたり回ったりすることを楽しんだ。</li> </ul>
	3歳児	<p>&lt;日曜参観&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と一緒にトンネルくぐりや台からのジャンプを楽しんだ。</li> <li>『バスごっこ』の曲に合わせて、保護者の膝の上に座って遊ぶことを楽しんだ。</li> </ul>
9月	3歳児	<p>&lt;降園時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育室から降園の際、『まるいたまご』の手遊びを子どもと一緒に行つた後、保護者とも一緒に行つた。</li> </ul>
1月	3歳児 5歳児	<p>&lt;降園時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表会で保護者と一緒に歌う「みんなの広場」を降園時に一緒に歌うことを楽しんだ。</li> </ul>
2月	全学年	<p>&lt;生活発表会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エンディングで「みんなの広場」や「今日も元気！」の歌を保護者と一緒に歌うことを楽しんだ。</li> </ul>

＜誕生会・園だより＞		
6月	全学年	・6月の園だよりに掲載した、『新聞あそび』を誕生児と誕生児の保護者で行った
7月	全学年	・7月の園だよりに掲載した、『おふねがぎっちらこ』を誕生児と誕生児の保護者で行った
8月	全学年	・8、9月の園だよりに掲載した、『てつなぎグーパー』を誕生児と誕生児の保護者で行った
10月	全学年	・10月の園だよりに掲載した、『おいものてんぷら』を誕生児と誕生児の保護者で行った
11月	全学年	・11月の園だよりに掲載した、『こちよこちよ電車』を誕生時と誕生児の保護者で行った
12月	全学年	・12月の園だよりで家庭でもできるコマのつくり方を掲載した ・12月の誕生会で『一本橋こちよこちよ』を誕生児と誕生児の保護者で行った
1月	全学年	・1月の園だよりに家庭でもできる『くるくるへび』のつくり方を掲載した ・1月の誕生会で、手作りのタオルボールの遊びを紹介し、誕生児と誕生児の保護者で行った
2月	全学年	・2月の園だよりに『おちゃらかほい』を掲載した ・2月の誕生会で『なべなべそこぬけ』を誕生児と誕生児の保護者で行った
3月	全学年	・3月の園だよりに『全身をつかってあっちむいてほい』を掲載した

#### いろいろな文化に興味や関心がもてるような保育の取組【行事】

月・行事	学年	取組内容
5月 <こどもの日>	全学年	○子どもの日の由来を、中国の登竜門伝説の話をしたり、こいのぼりや兜などの実物を見せたりして知らせる。
7月 <七夕>	全学年	○中国の七夕のお話を活用し、ペーパーサートで知らせる。 ○七夕飾りづくりや笹への飾り付けを通して、飾りの由来や意味を知らせる。
8月 <オリンピック>	5歳児	○保育室の壁に、オリンピックや様々な競技について、新聞の切り抜きを掲示し、様々な国・地域の人が集まっていることに興味・関心がもてるようにする。 ○世界地図や国旗の絵本を用意したり、オリンピックの開会式の映像を見たりし、様々な国・地域があることや、国旗や言葉、文化などの違いに気付くことができるようとする。

9月 <お月見>	全学年	○お月見の絵本の読み聞かせをする。 ○粘土を丸めて団子をつくり、スキ・キキョウと一緒に飾って、お月見への期待を高めた。
9月 <陶芸>	5歳児	○陶芸の先生や地域の方と一緒に、土粘土で陶器をつくり、陶芸体験をする。
11月 <書道>	5歳児	○書道の先生に、用具の使い方や書き方を教えてもらい、書写を体験する。
1月 <鏡餅>	全学年	○始業式に鏡餅を飾り、飾りの意味を知らせる。
2月 <節分>	全学年	○節分の由来について知らせ、園庭で豆まきをする。
3月 <ひなまつり>	全学年	○ひな飾りを飾ったり、幼児がひな飾りをつくったり、歌を歌ったりを通して、飾りの由来や意味を知らせる。

### いろいろな文化に興味や関心がもてるような保育の取組【言葉】

#### 【1学期】

学年	取組内容	幼児の姿
5歳児	○ひらがな表を活用する	・遊びの中で「文字を書きたい」と思ったときに、ひらがな表をいつでも見ることができるようにしておいたことで、自分で調べながら、表と見比べ、関心をもって書く姿が見られた。
	○ひらがなカードで遊ぶ	・いつでも手に取れる場所にひらがなカードを置いておいたことで、カードを組み合わせて自分の名前や知っている言葉をつくっていた。
	○一日の予定をホワイトボードにひらがなで記載して知らせる	・「今日はどんなことをするのか知りたい」という気持ちから、書いてある予定を読もうしたり、友達に教えてあげたりする姿につながった。
4歳児	○一日の予定を絵カードを使って知らせる	・片付けの時間や、次の活動を絵カードや文字、時計を用いて知らせた。文字を読んで次の見通しを持つ幼児の姿や、時計の数字に関心をもち、言葉で言いながら周りに知らせる子どもの姿もあった。
	○遊具や用具を片付ける場所を、写真と文字で掲示する	・ものの名称を文字で知らせることで、文字にも関心をもって片付ける姿が見られた。
3歳児	○記号やマークに意味があることを知らせる	・一人一人のマークを決め、ロッカーやコップかけなど自分の場所が分かるように、マークのシールを貼ることで、自分のマーク

		を知り、マークが自分の場所を示していることに気付く姿につながった。
	○生活の中で使う言葉や自分の気持ちを表す言葉をイラストで掲示する	・イラストを指さしながら、活動や気持ちを知ることで、イラストと言葉がつながり、自分で言葉で伝える姿につながった。

### 【3学期】

学年	取組内容	幼児の姿
全学年	○園児につながりのある国の挨拶を歌の歌詞に取り入れ、歌う。	・いろいろな国の挨拶を知り、歌うことを楽しんだことで、いろいろな国への関心が広がった。生活発表会で保護者に歌うところを見てもらい、保護者とともに歌うことも楽しんだ。

### 取組内容②

体を動かして遊ぶ楽しさを感じる環境や遊びの内容の工夫

### 【1学期】

学年	遊び	環境構成・内容の工夫、幼児の姿
全体	サーキット遊び	・トンネル、S棒、ラバーフープ、ジャンプ台を園庭に並べることで繰り返し取り組む姿が見られた。ジャンプ台では、教師がタンブリンを持っていることでいろいろな高さのジャンプに挑戦する姿が見られた。
	ボール流し(水遊び)	・カラーボックスを2台重ね、高い場所から水やボールを流すことができる環境を整えたことで、水の入ったバケツを持ち上げて繰り返し流したり、ボールをスプーンでくつたりする姿が見られた。
3歳児	ダンス	・幼稚園で踊っている曲や手遊びの曲、家庭で馴染みのある曲を流すことで、自分からダンスを踊る姿が見られた。また、音が鳴ったりヒラヒラと揺れたりする鈴やシフォン布を用意することで、音楽に合わせて自然と体を動かして遊ぶ姿が見られた。
4歳児	ダンス	・CD デッキのそばに、ポンポンやマイクを用意することで、手具をもって音楽に合わせて体を動かすことを楽しんでいた。また、クッションを用意して、1人用のステージに見立てて遊んでいた。反発があることで、自然とジャンプをして跳んだときの感触を楽しみながら、繰り返し体を動かすことを楽しんだ。
	プール遊び	・少しずつ水につかる部分を増やすようにしたことで、水に怖がるこ

		となく、気持ちよさを存分に感じていた。 <b>フラフープを使って輪ぐりの遊びを取り入れたことで</b> 、自然と全身を水につけながら、いろいろな向きで輪を通ることを子ども自身が考えて楽しむ姿が見られた。
5歳児	鬼遊び（しつぽ取り）	・ <b>クラス全体でしつぽ取りをして遊ぶ機会をもったことで</b> 、走る、よける、止まる、スピードを調節するなど多様な体の動きを経験した。
	転がし遊び	・板段ボールで坂道のコースをつくり、ボールやテープの芯などを転がして遊んだ。 <b>自分たちでコースにトンネルやジャンプ台などをつくり、工夫して遊べるように材料を準備したこと</b> で、何度も転がしたり、拾ったり、転がるものを探いかけてたりする動きを楽しんでいた。
	砂遊び	・友達と一緒に協力して大きな穴を掘り、水を入れて温泉づくりを楽しんだ。 <b>クラス全体でつくりたいものやイメージを共有し合う機会をもったことで</b> 、「もっと深くしたい」「もっと広くしたい」とシャベルで掘り進めたり、何度もバケツで水を運んだりして、全身を動かしての活動となった。
	プール遊び	・ <b>浮力や水の抵抗、感触などを楽しめるように洗濯機遊びを取り入れたことで</b> 、クラス全体で力を合わせて水の流れをつくり、浮かんで流れたり、反対向きに歩いて抵抗を感じたりしながら楽しんでいた。

## 【2学期】

学年	遊び	環境構成・内容の工夫、幼児の姿
3歳児	三輪車に乗る	・ <b>三輪車で通れるトンネルをつくったことで</b> 、自分で三輪車を漕いで繰り返し通ることを楽しむ姿が見られた。 <b>三輪車にカゴを設置したことで</b> 、カゴにものを入れて運ぶことを楽しむ姿が見られた。
	ボールを転がしたり投げたりする	・ <b>保育室や廊下にボールを投げ入れる的や転がすことができる板を設置したり、スポンジや緩衝材で作ったボールを使ったりすることで</b> 、室内でも思い切りボールを投げて的に入れることを楽しむ姿が見られた。
4歳児	フラフープ	・フラフープを使って、いろいろな体の動かし方を楽しめるよう毎日継続してフープにふれる時間をつくった。フープを体で回すために体をひねったり、フープのバランスを取りながら転がしたり、フープを使って多様な体の動きを楽しんだ。
	ボールを蹴ったり投げたりする	・ <b>やってみたいと思ったときにそれぞれが遊べるよう、十分な数のボールを用意した。</b> 山から転がして追いかけたり、思い切り蹴ったり、足の間に挟んで落ちないようにジャンプしたり、上に

		投げてキャッチしたり、全身を動かして遊ぶ姿が見られた。
	手づくりのアスレチック遊びをする	・保育室でアスレチックの遊び場を子どもたちとつくった。子どもが運動会で楽しんだ海のイメージを取り入れることで、バランスをとって橋を渡ったり、岩を上ったり下りたり、海のトンネルを這って通ったりして魚になって体を動かして楽しんだ。
5歳児	様々な運動遊具にチャレンジする(パンブー、大縄、一輪車、竹馬など)	・パンブーや一輪車など、新しい遊びにも興味をもち、挑戦できるよう用具を整備し、みんなで遊ぶ機会を設けたり、友達の姿を知らせたりした。「○○ちゃんみたいにやってみたい」と意欲につながったり、粘り強く取り組んだりする姿につながった。
	リレー遊び	・繰り返し遊ぶリレーで遊ぶ中で、走り方やバトンの渡し方、順番などを話し合う機会をもった。足や腕をしっかりと動かすことや、相手を見てバトンパスすることなどを意識しながら走る姿が見られた。運動会後は、異年齢の友達とも一緒に楽しんだ。
	パラバルーン	・動かし方や遊び方のアイデアを出し合う機会をもったことで、膨らませたり、中に入ったりする動きを楽しんだ。音楽を流すと、声をかけ合いながら、気持ちを合わせてパラバルーンを動かしていた。

### 【3学期】

学年	遊び	幼児の姿、環境構成・内容の工夫
3歳児	鬼遊び	・『むっくりくさん』の歌に合わせて友達と輪になって踊ることで、友達とリズムを合わせて踊ることを楽しむ姿が見られた。 ・グラウンドで鬼遊びをすることで、広い場所で思い切り走ることを楽しむ姿が見られた。
4歳児	鬼遊び	・2重の円を書いて、外の枠で逃げて、中にいる鬼が逃げている友達をタッチする鬼遊びを行った。逃げる範囲が決まっているため、タッチされないようタイミングを見計らったり、避けるために体をひねったりしながら、繰り返し楽しんでいた。
	縄跳び	・1人1本、自分の縄跳びがあることで、「縄跳びをやってみたい」という意欲につながっているようだった。縄に親しみがもてるように、縄を床に置いて飛び越えたり、頭の上や体の横で回したり、全員の縄をつなげて置いてバランスをとって渡ったりする遊びを楽しんだ。その後、自分から前跳びやかけ足跳びをして、昨日より跳べるようになったことを喜び、繰り返す姿が見られた。

5歳児	リレー遊び	・繰り返しリレー遊びを楽しむ中で、「もっと長く走りたい」という姿が出てきた。コースの距離を長くしたり、土山の傾斜を活用したりしたことで、存分に走ることや傾斜を下る疾走感を楽しむ姿が見られた。
-----	-------	---

・取り上げた体操やダンス

4月	『ダンゴムシたいそう』『げんきタッチ！』
5月	『めっちゃ元気体操』『からだ☆ダンダン』『こいぼぼり体操』
6月	『ムシバイキンたいそう』
7月	『ラララ体操』『へんしんぐるぐるぱ！』
8・9月	『み～んなの WA・わ・ワ！』『うさぎがピョン』『サンマサンバ』 『あおいそらにえをかこう』
10月	『あおきいろ』
12月	『サンタクロースはいそがしい』
1月2月	『フライパン』『ぽかぽかでくてく』 『ばんばん！はるいちばん！』

取組内容③ 栽培年間計画通りに実施している。

月	栽培物	幼児の姿・内容の工夫
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の苗植え (マリーゴールド、サルビア、マツバボタン、ペチュニア)</li> <li>・個人栽培 苗植え (ミニトマト、ピーマン、ナス、オクラ)</li> <li>・畑 夏野菜苗植え (ピーマン、ミニトマト、長ナス、米ナス、フルーツトマト、エダマメ、トウモロコシ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏野菜の苗植え・水やり</li> <li>・親子で自分の鉢に夏野菜を植えた。日々の水やりや収穫を通して、野菜の生長の様子に興味をもって観察したり、生長の喜びを感じたりしていた。</li> <li>○夏野菜に関する掲示物</li> <li>・夏野菜の生長（開花・結実）に期待がもてるよう教材を掲示したり、野菜に関する絵本を設置したりしたことでの、夏野菜への興味・関心が高まった。</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の種まき (ヒマワリ、千日紅、アサガオ、フウセンカズラ)</li> <li>・サツマイモ苗植え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ジャガイモの収穫</li> <li>・全クラスで、畑のジャガイモを収穫した。5歳児は、数量や形、大きさ等に関心をもち、収穫したジャガイモを数えたり、広い場所で大きさ順に並べたりして遊ん</li> </ul>

		<p>だ。</p> <p>○色水遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サルビアやペチュニア、パンジーなどの草花の色に興味をもち、色水遊びに取り入れて遊んだ。</li> </ul>
7月		<p>○夏野菜の収穫・持ち帰り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児は、畑の夏野菜を収穫した。自分の手でもぎとって園まで持ち運んだことで、より収穫の喜びを感じていた。</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人栽培 苗植え (ブロッコリー、水菜)</li> <li>・ホウレンソウ種植え</li> <li>・ダイコン種植え</li> </ul>	<p>○冬野菜の苗植え・水やり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で自分の鉢に夏野菜を植えた。日々の水やりを通して、野菜の生長の様子に興味をもって観察したり、生長の喜びを感じたりしていた。</li> </ul>
11月		<p>○サツマイモの収穫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全クラスで、畑のサツマイモを収穫した。長いツルでは、縄跳びや綱引きをしたり、冠をつくって身に着けたりして遊ぶことを楽しんだ。また、5歳児は、ツルを巻いて、リースづくりを楽しんだ。</li> <li>・収穫後は、収穫の経験を通して見たことや感じたことを絵の具で伸び伸びと表現したり、身近な素材を使ってサツマイモをつくりたりして遊ぶことを楽しんだ。5歳児は、数量や形、大きさ等に関心をもち、収穫したサツマイモの太さや長さ、大きさを比べたりしていた。</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チューリップ球根植え</li> <li>・クロッカス球根植え</li> <li>・ヒヤシンス水耕栽培</li> <li>・パンジー、ノースポールの苗植え</li> </ul>	<p>○保育室でヒヤシンスの水耕栽培を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室の子どもが毎日見ることのできる場所に置いておくことで、球根から根が伸びる様子や、花が咲いていく様子を観察することができ、成長に気が付き、喜ぶ姿が見られた。</li> </ul>
1月		<p>○ダイコン、ホウレンソウの収穫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全クラス、畑のダイコン、ホウレンソウを収穫した。最初は小さな種だったことの話をすると、大きく成長したことを喜ぶ姿が見られた。</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャガイモ植え</li> </ul>	<p>○個人栽培物(水菜、ブロッコリー)の収穫</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で植えた栽培物のそれぞれの成長具合を見て、収穫を順次行った。自分たちで水やりをして育ててきたこともあり、喜んで収穫する姿が見られた。後日保護者から、収穫した野菜を料理するといつもより進んで食べていたという話があった。</li> </ul>
--	---

### 身近な生き物との関わり

#### 【3歳児】

##### ○ダンゴムシとの触れ合い（4月～）

- ・4月当初は担任が園庭のダンゴムシを飼育ケースに入れ、保育室に準備した。初めての環境に不安な様子を見せる子どもも、ダンゴムシがいることで安心して過ごすことにつながった。その後、園庭で遊ぶようになると、自分たちでダンゴムシを探して集める姿が見られた。クラス全体でも、ダンゴムシの絵本を読んだり、自分がダンゴムシになって表現遊びをしたりすることで、より親しみをもって関わった。

##### ○アオムシ、チョウチョウとの触れ合い（5月～）

- ・担任が園庭の木にいたアオムシを保育室で育てることができるよう準備した。サナギになると「静かにするよ」と言いながらチョウチョウになることを楽しみにする姿が見られた。チョウチョウになると、サナギから出てきてすぐは羽が柔らかいことに気付き、羽がしっかりと広がるか心配する姿も見られた。

##### ○カブトムシとの触れ合い（5月～）

- ・幼虫から成長を見ていたカブトムシが成虫になったことで、カブトムシが成長する喜びを感じた。カブトムシが土の中から出ると、優しくなで、カブトムシの角の様子や体の硬さに気付く姿が見られた。

##### ○カブトムシの幼虫との触れ合い

- ・年中児がカブトムシの幼虫をプレゼントしてくれた。冬の間土の中にもぐっている様子に気付き成長を楽しみにする姿が見られた。

#### 【4歳児】

##### ○園庭の虫との触れ合い

- ・園庭で遊ぶときには、カップやスコップを用意したこと、そこにダンゴムシやカナブンの幼虫を集めて遊ぶことを楽しんでいた。靴箱に入れて次の日に見ると、動かなくなってしまい、「どうしてだろう」と考える姿が見られた。絵本や図鑑を教師も一緒に読む中で、ごはんや水がいるということに気が付き、それがお世話をしようという気持ちにつながった。

##### ○カブトムシとの触れ合い

- ・幼虫からサナギ、成虫になった姿を見て、図鑑をもってきてオスかメスどっちなのかを調べたり、子どもたちで考えた名前を呼びながら毎日ケースをのぞいて様子を見たりする姿が見られた。3歳児が保育室で生まれたカブトムシを見せにきたときには、

図鑑を持ってきて、「角があるから男の子だよ」と、自ら教えてあげる様子もあった。

#### ○カブトムシの幼虫との触れ合い

- ・1学期に成虫になったカブトムシが卵を産み、13匹の幼虫が生まれた。自分たちで数を数え、たくさん生まれたことに喜びを感じていた。ケースの土の交換も子どもたちとしたことで、親しみをもち、登園してきて幼虫がどんな様子なのかを気にして観察する様子も見られた。
- ・1年を通して目につきやすい場所にケージを置いておいたことで、変化に気が付き、興味をもって観察する姿につながった。また、進級後、カブトムシが成虫になるためには、続けて世話をすることが大切だと知らせたことで、より成長を楽しみにする姿となった。

### 【5歳児】

#### ○ザリガニやメダカ、カエルの飼育

- ・昨年度の年長児から、ザリガニやメダカのお世話を引き継いだ。5月からは、カエルのお世話も始めた。
- ・当番活動で餌やりをしたり、ケースの汚れに気付いて、自ら掃除をしたりしていた。メダカのお腹が膨らんでいることや、ザリガニが脱皮していることに気付き、生き物の成長や変化を楽しんだ。

#### ○虫探し、見つけた虫の飼育

- ・ダンゴムシの家づくりや迷路づくりをして遊んだ。ダンゴムシに触れて遊ぶ中で、世話をしないと死んでしまうことに気付き、大切にする気持ちをもって、図鑑で調べたり、友達と教えあったりしながら世話をしていた。
- ・ナミアゲハ、ツマグロヒョウモンの幼虫を園庭や花壇で見つけ、飼育をした。それぞれの幼虫の色や形、見つけた場所、食べるものなどの違いに気付いたり、図鑑で調べたりし、成長や変化を楽しんだ。サナギになった時には、「さわらないでね」と飼育ケースに掲示をし、サナギの糸が切れてしまわないように大切に見守っていた。

#### ○カブトムシの幼虫との触れ合い

- ・ケースの土の交換を子どもたちと一緒に行ったことで、土の中の栄養を食べて大きくなっていることや糞が出ることなどに気付き、「土が減っているから足さないと」と幼虫の様子を観察する姿が見られた。
- ・日々、幼虫の姿を観察してきたことで、土が乾燥していることに自ら気が付き、霧吹きで湿らせるなど、大切に世話をする姿となった。

### 次年度の改善点

- ・『子どもは、いろいろな人（クラスの友達、他のクラスの友達、学校や地域の人）との関わりを楽しんでいる』の項目について、保護者アンケートでの肯定的回答（そう思う）が78%であった。「ややそう思う」と回答した保護者が18%であった。年長は多くの保護者が「そう思う」と回答している。年中、年少になるにつれて「そう思う」の回答が少なくなっていく。幼稚園の行事の中でも、学校や地域の人と関わる行事は年長児になる程多くなっている。各年齢の実態や時期に大切にしたいいろいろな人との関わりを具体的に保護者に知らせていただきたい。
- ・『子どもは、植物や生き物との触れ合いを楽しみ、命の大切さなどにも気付いてきている』

の項目について、保護者アンケートでの肯定的回答（そう思う）が70%であった。「ややそう思う」と回答した保護者が26%であった。親子栽培について、子どもと保護者が成長や収穫をより楽しめるように工夫していくことが必要である。また、命の大切さについて気付く姿を教師が具体的に捉え、保護者に発信していくことが必要である。

## 大阪市立南幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b> <b>学校園の年度目標</b> 「教職員の専門的な知識を高め、資質向上を図る」ために、以下の目標の達成をめざし保護者アンケートにおいて、次の項目について肯定的な回答（そう思う）を80%以上にする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園は、幼児期に大切な様々な体験ができる保育を行っている</li> <li>・子どもは、安心感をもって生活し、幼稚園が好きである</li> </ul>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【7-2、教員の資質向上・人材確保】</b> 専門的な知識を深め、幼児一人一人を大切にし、豊かな体験となる教育実践を行う。 （人材の確保の達成としなやかな組織づくり）	A
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会に参加し、教職員間で情報交流を行い、実践する。</li> </ul>	
<b>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</b> <b>&lt;保護者アンケート結果&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園は、幼児期に大切な様々な体験ができる 保育を行っている 肯定的回答・・・・・・90%（目標80%）</li> <li>・子どもは、安心感をもって生活し、幼稚園が好きである 肯定的回答・・・・84%（目標80%）</li> </ul> <b>取組内容①</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健研修会（6/19） 園生活で注意すべき虫と虫による皮膚疾患の対処法について学んだ。学んだことを教職員間で共有し、虫への関わり方について共通理解した。</li> <li>・養護教員会全体会（6/26） HPVワクチン、小児性被害、学校検診についての正確な情報と知識について学んだ。</li> <li>・中央区食育関係者連絡会（7/1） 地域の学校園や大学などの関係機関と食育活動について情報交換した。自園の特色を生</li> </ul>	

かした食育活動の展開について考えた。

- ・学校におけるHIV／エイズ性感染症講習会（7／19）

学校教育と性の多様性について学んだ。性的マイノリティの子どもへの教育支援の在り方を考えた。

- ・特別支援必修研修1（7／26）

「特別の教育課程と自立活動」について、子どもの可能性を見つけ、引き出す支援がを学んだ。

- ・中堅教員研修（7～8月）

中堅教員としての組織の中での役割を学んだ。また、研修を通して専門性を深め、知識や技術の向上に努めた。

- ・就学前教育カリキュラム研修会（8／1）

就学前教育カリキュラムを活用しながら、子どもに応じた働きかけについて考えた。

- ・近畿養護教諭研究協議会（8／1）

小学校、中学校、特別支援学校における学校保健と養護教諭の取組について学んだ。

- ・特別支援必修研修2（8／2）

児の実態や特性に見合った支援ができているのか悩んだときに、一人ひとりの子どもの視点から見直す大切さなどを学び、考え方を見直すことができた。

- ・主任研修会（8／8）

小学校教育を見通した幼児教育の役割について学んだ。

- ・人権教育研修会（8／19）

一人ひとりのもちあじが生きる教室づくりについて学んだ。

- ・特別支援教育実践講座（基本編）（9／9）

知的障がい、視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由のある子どもの理解と支援について学んだ。

- ・応急手当普及員講習（9／10）

一次救命処置に関する正しい知識と技術を習得し、指導方法について学んだ。研修後に一次救命処置について職員研修を実施した。

- ・学校保健講習会（9／13）

若者のネット・ゲーム依存と学校等の生活における事故防止について学んだ。

- ・幼稚園特別支援教育研修（9／27）

発達障害の可能性がある子どもの保護者の心情理解について、保護者の立場に立って考え、寄り添うことが鉄則であることを改めて学んだ。

- ・田島南小中一貫校公開授業・公開研修会－学校等における生命の安全教育推進事業（9／28）

小・中学校での生命の安全教育の取り組みについて学んだ。

- ・小学校学習指導要領の理解～就学前教育と小学校生活科のつながり～（11／8）

幼小連携に向けて、就学前教育・小学校教育で大切にしたいことを学んだ。

- ・生命の安全教育研修会（12／6）

発達段階における命の安全教育の取組内容や関連教材について学んだ。

- ・養護教員会定例研修会（12／10）

小学校や中学校での現代的健康課題の課題解決へ向けた取組について学んだ。

- ・特別支援担当者必修研修（1／15）

自立活動の指導の評価と引継ぎについて学んだ。

- ・中央区食育ネットワーク会議（合同研修会）（1／29）  
食育活動やアレルギー対応、野菜嫌いの子どもへの対応についてグループで情報交換を行ったり、第4次大阪市食育推進計画の概要について学んだりした。
- ・大阪市教育フォーラム（12/24）  
分科会では、小学校教諭と交流・意見交換をし、幼稚園での子どもの育ちや教育内容を小学校に伝える機会をもつことの大切さを学んだ。
- ・人権保育研修（1/15）  
児童虐待に気付くことができるよう、子どもたちのサインとしてどのようなものがあるのかを学んだ。
- ・造形表現研修（2/25）  
幼児の豊かな表現を支える教師の指導や援助の在り方について学んだ。
- ・特別支援教育連絡協議会（2/27）  
グループ協議では、就学にあたっての引継ぎの大切さを再確認し、また、他校園での支援の取り組みを知ることができた。

#### 次年期への改善点

- ・『幼稚園は、幼児期に大切な様々な体験ができる保育を行っている』『子どもは、安心感をもって生活し、幼稚園が好きである』の項目について目標の80%を達成することができた。今後も、研修に参加し、専門的な知識を深め、実践に活かしていく。